

鈴木武研究員

ノキシノブというシダがありま
す。写真①。北海道南部から南の
日本、東アジア、東南アジアなど
に広く分布し、三田市周辺では、
木の幹や溝のコンクリート壁など
に張り付いて、細長い葉をつける
シダらしくない植物です。乾いて
カチカチになってしましますが、
雨がかけると元に戻ります。

百人一首100番の「百敷や
古き軒端のしのぶにも なほあ
まりある 昔なりけり」のシノブ
は古い軒先に生えたノキシノブを
指すとされます。古来より人家の
周辺には当たり前にある植物だっ
たのでしよう。

ノキシノブは生えている場所や
湿度によってかなり形の変化が大
きく、いくつかの型があると言わ
れます。



れてきたのですが、千葉大学理学
部(当時)の藤原泰央さんほかの
研究論文(2018年)により、
3つの種、ノキシノブ、クロノキ
シノブ、フジノキシノブに分けら
れました。

彼らの論文では兵庫県の産地は
示されていませんでしたが、3種
とも近畿での分布があったので、
兵庫県にもあるはずでした。厳密に
は葉などを顕微鏡で調べるので
すが、クロノキシノブは葉の付け根
の葉柄が長くて黒光りし、葉の色
もやや黒っぽいという特徴があり
ます。写真②。フジノキシノブは
やや質が薄くて小型の傾向があり
ます。

まずは、人と自然の博物館の標
本庫の標本を調べてみました。ノ



②クロノキシノブ
(三田市小柿)



①ノキシノブ
(三田天神神社)

内沿岸域にはノキシノブが多く、
六甲山から北側の地域ではクロノ
キシノブが多い傾向にありまし
た。

2024年秋以降、三田市内な
どで実際にノキシノブ類を探して
みました。三田市や丹波篠山市で
はクロノキシノブが多いのです
が、時にはノキシノブもあります
し、フジノキシノブも見かけます。

3種が一緒に出てくる場所もあ
り、現場で判断を迷うこともあり
ます。クロノキシノブは写真②の
特徴に注意すれば分かりやすいの
で、皆さんも家の周りで観察して
みてください。

そうしているうちに藤原さんか
ら、但馬では大きいノキシノブが
あって、タジマノキシノブ(仮称)
として調べているとのこと。これ
を入れると県内のノキシノブは4
種になります。ノキシノブ類とい
う地味でありふれたシダなんです
が、県内分布を確認するだけでも
手間取りそうです。

ひとはく
研究員
だより

ノキシノブ

らしくないシダ、新種も